

(表1)

18年度目標達成状況

18年度目標	主な実施項目(手段)	目標達成状況	評価
公用車の燃料使用量の削減 (H15年度比 2%削減)	低公害車・小型車の導入、自転車・バイクの利用促進、エコドライブの推進、公共交通機関の利用	H18増減率 7.6%増 国体などイベントの増加、黄色パトロールの実施などが理由であることから、右記評価とする	△
電気の使用量の削減 (H15年度比 0%削減)	休憩時間の消灯、適正なOA事務機器の管理、ノー残業デーの設定、節電対応機種への変更、室内設定温度の管理	H18増減率 0.4%減	○
灯油の使用量の削減 (H15年度比 2%削減)	室内設定温度の管理、空調機フィルターの清掃	H18増減率 7%減	○
ガス使用量の削減 (H15年度比 20%削減)	ガス器具の適正な使用	H18増減率 29.3%増 国体推進室の事務所移転にともなう増加が理由であることから、右記評価とする	△
事務用紙使用量の削減 (H15年度比 2%削減)	両面印刷・片面印刷の再利用の徹底、文書の簡素化・濃縮化、文書の電子化・LAN等ネットワークの活用、Eメールの活用	H18増減率 4.6%減	○
グリーン購入の推進 (購入品目に対するグリーン商品の割合 80%)	事務用紙、印刷用紙の再生紙使用、グリーン商品、エコマーク商品購入の促進	一括購入する共通消耗品の購入品目に対するグリーン商品の割合 80.9%	○
水道使用量の削減 (H15年度比 0%削減)	トイレ・洗面所での適正な水の使用、蛇口の節水バルブの設置、雨水の利用	H18増減率 1.2%増 国体推進室の事務所移転にともなう増加が理由であることから、右記評価とする	△
ゴミ(一般廃棄物)排出量の削減 (H15年度比 15%削減)	分別の徹底、使用済封筒の再利用、使用済紙の再利用、ペーパーレス化の促進	H18増減率 50.6%減	○
ゴミ減量化機器購入補助	ゴミ減量化機器購入補助制度のPR	ゴミ減量化機器購入補助件数 51件	○
設計・核算段階における環境への配慮	再生資材の使用、建設副産物リサイクルの推進・徹底、環境にやさしい工法の検討・採用	公共工事設計・施工環境配慮指針に基づき実施 2件	○
請負業者への環境配慮の指導	環境に配慮した公共工事を実施するための指針の検討・作成	公共工事設計・施工環境配慮指針に基づく指導 2件	○
資源ゴミの監視・回収	廃棄物不法投棄の監視および回収、クリーンアップ作戦の実施、違反広告物の除去・指導	年間撤去件数 40件 年間回収量 6.5t	○
イベント開催時の環境への配慮	公共交通機関の利用促進、ゴミの削減、分別、リサイクルの推進、環境配慮へのPR	いながわまつりでの送迎バスの運行・ゴミの分別の徹底、チラシの再生紙の利用、エコイベント開催方針の策定	○
環境負荷・低減を進めるための普及・啓発活動の推進	環境学習会の開催、エコフェスタ等への参加、町広報などによる普及、家庭用90の実施	屋まつり、水生生物観察会などの開催	○
学校での環境教育の推進	環境教育推進計画の策定、環境教育の実施、ゴミ処理施設見学の実施	各小・中学校における環境教育の実施、ゴミ処理施設見学の実施 7小学校環境教育推進計画の策定	○
環境学習施設の整備・管理による環境意識の高揚	環境学習施設の利用普及	天文台利用者数 5,898人	○
地域環境活動の支援	住民などへの清掃用具の貸出	貸出件数 11件	○
下水道の整備および水質向上への切り替え	下水道の整備および水質向上への切り替え促進のPR	水質化人口 30,128人 水質化率 98.7%	○
合併浄化槽設置への補助	合併浄化槽補助制度のPR	合併浄化槽設置補助件数 4基	○
水質検査の実施	水質検査の実施	年6回実施 結果をHPにおいて公開	○
雨水貯留槽設置補助	雨水貯留槽補助制度のPR	雨水貯留槽設置補助件数 11基	△
代替エネルギーの利用促進	太陽光発電設置への補助、公共施設への太陽光発電設置計画の策定、公共施設への太陽光発電設置	太陽光発電設置補助件数 22件	○
公共交通の確保、利用、整備促進	ふれあいバスの運行、流湯緩和施策の推進	ふれあいバスの利用者数 21,890人 駐車場利用台数 264,045台	○

ISO14001の 取り組み状況

町では、平成14年7月24日に「ISO14001」の認証を取得し、さまざまな施策を実施しています。

認証取得施設である本庁舎、第二庁舎、分庁舎(平成19年度現在の認証取得施設は、本庁舎、分庁舎、水道課飯庁舎の3カ所です)の平成18年度の取り組み結果を、表1で示しています。削減金額では、本庁舎などで12年度を基準として13年度から18年度までの合計で1799万7693円、出先機関では14年度を基準として15年度から18年度まで1

796万6290円、合計3596万3983円削減しています。

この認証取得期間は3年間とされており、本年度も7月9日に定期審査を受けたところ「環境マネジメントシステムは適切に実施・改善されている」との総合評価がなされました。

平成18年度実績

本町域内における行政活動から生じる温室効果ガス(二酸化炭素・メタン・一酸化二

(表2)

CO2換算温室効果ガス 排出量一覧表

		(単位:t-CO2%)		
ガス別詳細		平成11	平成18	平成11 比較
二酸化炭素	ガソリン	87.6	87.4	-0.23
	灯油	177.9	73.8	-58.52
	軽油	122.0	109.0	-10.68
	A重油	315.3	417.3	32.35
	LPガス	33.2	23.1	-30.42
	天然ガス	106.3	67.4	-36.59
	都市ガス	116.5	218.5	87.55
	電気使用量	1,941.4	2,422.8	24.80
	一般廃棄物焼却	1,541.1	855.0	-44.52
	合計	4,441.3	4,274.3	-3.76
メタン	自動車	0.1	0.1	0.00
	一般廃棄物焼却	11.4	10.6	-7.02
	合計	11.5	10.7	-6.96
一酸化二酸化炭素	自動車	3.7	3.5	-5.41
	一般廃棄物焼却	158.8	146.5	-7.63
	合計	162.3	150.0	-7.58
温室効果ガス合計		4,615.1	4,435.0	-3.90

室素)の排出量は、平成18年度実績で4435t、平成11年度対比で3.9%の削減となりました(表2)。

今後も引き続きISO14001環境マネジメントシステムに基づき取り組みの強化を行い、削減に努めていきます。

問い合わせは、環境対策室(766・8712)へ。

21世紀の主役たち マスコットキャラ クター「いなぼう」 の考案者

三木順子さん・水越美帆さん



真田町長を訪問した三木さん(中央)と水越さん(右)

清流猪名川を取り戻そう町民運動のマスコットキャラクター「いなぼう」の考案者、猪名川中学校美術部の三木順子さんと、そのキャラクターの名づけ親、同校の水越美帆さんが夏休みを利用して町長を訪問しました。

名前が、いながわの「いな」とうりぼうの「ぼう」を組み合わせた。町長 このキャラクターをシンボルに、川に対する考え方が町内外に広まってほしいと思っています。

町長 町民運動のシンボルとなる素晴らしいキャラクターとネーミングを考えていただきありがとうございます。イノシシも魚も笑顔で、元気な町のイメージが思い浮かびます。三木さん 猪名川町といえは「イノシシ」「いなぼう」を清流のシンボルに

水越さん 小学生の頃、ラブリバーに参加し河川清掃をしました。テレビやタイヤなど、いろいろながみが川に捨てられている状況を見て、驚き悲しくなりました。このキャラクターを見てごみを川に捨てる人がいなくなればうれしいです。

三木さん これからも空気がきれい自然がいっぱいの猪名川町を守っていききたいです。町長 お二人に子どもさんができる頃には、人が川に入ると魚が足をつきに来るような、水量豊かな美しい川を取り戻せたらと思っています。これからも、川に関心を持っていただき、清流猪名川を取り戻す活動に積極的に協力していただくようお願いいたします。

三木さん 三木さん これからも空気がきれい自然がいっぱいの猪名川町を守っていききたいです。町長 お二人に子どもさんができる頃には、人が川に入ると魚が足をつきに来るような、水量豊かな美しい川を取り戻せたらと思っています。これからも、川に関心を持っていただき、清流猪名川を取り戻す活動に積極的に協力していただくようお願いいたします。

ひらい まなと
平井 愛士くん
1歳5カ月(柏原)



お兄ちゃん大好き! 甘えん坊だけど、負けん気強いが、んぱりやさんです。たくましく、優しい子に育ってね。

父 直樹・母 美穂さん

とりごえ かほ
鳥越 楓歩ちゃん
1歳2カ月(松尾台)



これから「楓歩ちゃん」のペースで、元気に育ってね。

父 義弘・母 佐知子さん

はい! ポーズ

「はい! ポーズ」モデル募集

対象 平成18年3月1日から同19年2月28日までに生まれた赤ちゃん
募集人数 12人(多数抽選:当選者には9月中に通知します) 申込
ハガキに赤ちゃんの名前(ふりがな)・性別・生年月日・住所・両親の氏名・電話番号(昼間に連絡のとれる番号、携帯電話も可)を記入し、9月10日までに総務課広報担当(〒666-0292住所記入不要 766-8707)へ。